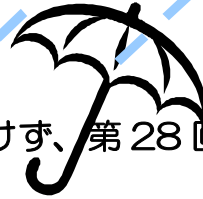


たまい場つうしん 第3号

— 大人も子どもも気軽に立ち寄ってお茶のみ話に花が咲く、そんな地域の公民館をめざして名づけました —



5月30日(土)・31日(日) 雨にも負けず、第28回白梅まつりが行われました

笑顔あふれる白梅まつり



「コール白梅」の皆さんの合唱

舞台の上も観客席も人、人、人
一緒になって「朧月夜」を大合唱しました

おまつりの立役者の皆さんに感想をききました

実行委員長 菅原久仁子さん(コール白梅)
白梅まつりは、実際にはお正月から準備が始まるので、無事に終わりホッとしました。
皆さんが一生懸命支えて下さり、演示の部門しか手伝えなかったが、展示や屋外のことにも気がなっていた。でも、交流会の代表の方々がいろいろやってくださるので、とても心強かった。

副実行委員長 野島智美さん

(アトリエクレヨン)

十年間、参加者としてまつりに関わってきたが、委員になり一から立ち上げ、時にはお酒なども飲み交わしながら作り上げることによって、全体や地域のネットワークが見えてきた。展示が少なかったり参加しなかったサークルのことも気になった。世代を超えた交流が楽しく、福生住民でないのが残念に思えた。

副実行委員長 前田政一さん

(ボーイスカウト)

ボーイスカウトの子ども向けのコーナーが会館の裏の広場になったにも関わらず、キャンプ用のテントの前には子どもたちの行列ができて、こんなことは初めてです。
今回の実行委員も、来年もまた、まつりのサポートをすることにもなるので、二十九回目も盛り上げていきたい。

初めての白梅まつりを体験して

新人囃託職員 成末雅恵

私は、今春から手島育さんの後任として仕事をさせていただくことになり、初めて白梅まつりに参加しました。「ナルさんは、たまり場つうしん第3号のまつりのコーナーを取材するように。」との命を受けて、二日間にはわたってできるだけ多くの展示や演示を拝見し、参加者のお声を拾うように努めました。今年のまつりは、新型インフルエンザのまん延があり、直前まで中止になるかと心配していましたが、無事予定通り開催されました。新人から見たまつりの様子をお伝えします。

■今回の参加状況

今年の参加団体は、昨年と同じ延べ五十団体でした。演習部門が四団体増え、屋外部門が一団体、会場整理部門の団体が三団体減りました。来場者は、昨年並みの約一二〇〇人、ただし昨年に比べて子ども参加が飛躍的に増えたようです。五団体からは、売上金3万円余りを社会福祉協議会に届けました。

■初日の様子

初日は十時から屋外や屋内で各サークルが店開きしました。十一時からは和室で「第二陽青会」のお茶席体験、大集会室では「人

形劇サークルこすもす」が、同時にスタートし、それぞれにたくさん子どもたちが嬉々として参加したのが印象的でした。

プログラムが来場者にわかりにくい場所にあっただため、見逃した方も多かったのではないかと反省しています。

■2日目の様子

翌日も雨でしたが、午後からは演習も始まり、終始満員御礼で、座席に座れないほどの賑わいでした。お囃子の狐やおかめ、ひよっとこに心を奪われ、朗読劇「修禅寺物語」の世界に引き込まれたり、日頃の活動を垣間見せていただきました。白梅まつりは、初めての参加だったのですが、とにかく多くの知り合いに会いました。地域の縁の繋がりを感心しました。写真は、陶芸サークル「つくしの会」で活躍している仲間と、販売中の作品の前で記念撮影をしたものです。



のです。

昨年、白梅まつりに初めて来場して陶器に魅せられたAさんは、その後「桜陶会」のメンバーとして活動を始め、今年のまつりには自分の作品を展示されていました。



白梅分館あれこれ ここだけの話

★前田さんが公運番委員に

市川重一さんの任期終了により、前田政一さん（ボーイスカウト福生第二回所属）が白梅分館利用者交流会から選出されました。

前田さんの談「昨年は体調を崩しましたが、現在では回復してサークル活動に励んでいます。今後は、公運番委員として公民館と利用者のパイプ役になるよう力を注いでいきたいです。」

市川さん、四年間お疲れ様でした。前田さん、よろしくお願ひします。

★「前向駐車」の看板が新しくなりました



黄色に黒字の目立つ看板に替わりました。シルバーの方の手づくりです。駐車場ご利用の方はご近所の迷惑にならないよう前向き駐車に御協力願ひします。

ちなみに、ベンチも手づくりです。

感謝、感謝！



★「思いやり傘」を3活用ください

白梅会館の入口に置かれているこの傘は、



福生市町会長協議会によって、誰でもいつでも使えるように設置されたものです。急な雨にお困りの時は思い出して下さい。

★今年も学童クラブ芋ほり体験講座



昨年に引き続き、今年も六月上旬に、公民館職員、クラブの先生、ボランティアさんと一緒に苗を植えました。十月下旬の芋ほりが楽しみです。

ボランティアの赤尾さんは、今年の三月まで羽村動物園の園長をしていました。楽しいお話と動物の写真に子どもたちは目を輝かせていました。



★たまり場には宝がいっぱい

「たまり場つうしん」の名のとおり、白梅分館のロビーは人が集まり交流の場として日頃からにぎわっています。そこでの他愛ない話の中に、公民館事業に結びつくヒントが見つかることが多くあります。たまり場は宝の山なのです。持ち腐れに注意！

現在、公民館や地域で活動している黒沢吉信さんに熊川分水の活動についてお聞きしました。公民館との出会いは、平成十五年に開催された白梅分館主催「趣味開発講座」だったということを知り驚きました。分水の活動はハイキングや気功のサークル活動からの延長線上とのことで、地域に寄せる思いなどあれこれお聞きしました。

○「熊川分水」との出会い

スケジュールが詰まっていた忙しい日々の中から日程調整していただきました。そんな毎日を送っているせいか、とても若い感じがします。昭和三十年代に結婚されて日野市から福生へ、現在の住まい熊川に定住しました。水と緑が好きで、子どもさんを連れて多摩川に遊びに出掛けたり、レンゲ畑や用水でもよく遊びました。こんな時代を過ごしながら、熊川分水の存在を知りました。当時は、存在を知っているという程度の認識でした。サントリーマン時代に『定年後の過ごし方』の研究テーマに取り組んでいましたので、定年後は抵抗なく公民館活動に関わるようになりました。そんな折「熊川分水再開発講座」に出会いました。分水の歴史と文化的価値を知り、分水の

歴史保存、自然景観を守るために講座終了後に受講者有志と「熊川分水を考える会」(後に熊川分水に親しむ会)というサークルを立ち上げました。その後まちづくり景観連絡会議やボランティア・市民活動センターなどへ参画し、啓発活動・保存活動の取り組みを続け、会員約五〇名の市民活動団体へと大きく変貌しました。

○ところで熊川分水って？

もともとは、産業としての動力源(水車を動かす)石川酒造の精米用と森田製系の機械用)、たんぼの用水、生活用水のために旧奥多摩街道沿いに作られた用水で、玉川上水の青梅橋・幸楽園脇からごとう橋(南公園)まで奥多摩街道沿いを流れる幅一・二m、全長は二〇七五メートル、その流れの区間を「熊川分水」といいます。分水をつくるために寛政三年(一七九一年)に出された許可願は、一〇〇年近く経った明治二年(一八八九年)に認められ、翌明治三年に工事が完成しました。約九割が民地で、現在は全体の三五%が暗渠(ふたなどで塞いでいる状態)です。昔



片倉跡地の中を流れる分水

から熊川分水は住民の貴重な生活用水として大切にされてきました。この熊川分水でオシメを洗ってしまったお嫁さんが離縁されたという話もあるほどです。水量も豊富で子どもが流されて下流で助けられたという話もあり、所々に鉄柵があるのもその予防策といわれています。

熊川分水の、空石積み(からいしづみ)コンクリートなどの詰め物がない)の石垣が残り、日本でも数少ない文化財的な価値があります。この空石積の土のおかげで、ホタルの生息に適しているとのこと。季節にはホタルを観賞することができます。しサワガニなど見ることが出来ます。



千手院前の空石積みの石垣の様子

○活動の広がり

主催事業から出発した活動は、「地域遺産の保全」「歴史を学ぶ」「自然景観の保護」などを目的に続けられてきました。会員の中に、地権者も含まれているために、身近で現実的な問題にも取り組んできました。発足二年間は「公民館のつどい」の分

科会にも参加しました。環境課主催の「市民環境大学」に参加して発表する機会もありました。また、親しむ会発足当時、行政・議員・町会の三者による「熊川分水対策会議」(現在は消滅か?)がありました。親しむ会では行政と一緒に熊川神社前の整備や保全について検討し力を注いできました。社会福祉協議会や輝き市民サポートセンターにも活動団体として登録して、地域住民に分水のことを知ってもらう努力を重ねています。

○目に見える進展は？

熊川神社前に「歴史由来



熊川神社近くの立て看板の様子

板」と「分水全体図」を設置しました。片倉跡地の一時開放や、「文化と自然を守るう！」の立て看板の設置(九基)により、住民の関心を持つ人も増えてきました。

○最後に黒沢さんにとって公民館とは？

ふれあいと学習の場、「めだかの学校」かな？

黒沢さん、お忙しい中ありがとうございました。私を含めてこれがかきかけとなつて、熊川分水に興味や関心を持つ人が増えることを願っています。

☆ただいま会員募集中！☆

白梅分館を利用しているサークルの会員募集です。興味のある方、事務所に声をかけてください

● 《英会話同好会 S. E. C》

米国人教師を囲んでの英語学習を通して、日米の文化交流や会員同志の親睦を図っています。前半の1時間はフリートーク、後半はテキストを使った学習です。初級～上級まで毎回新しい発見があり楽しくレベルアップできます。Join us!!

● <活動日>毎週水曜日(月3～4回) 午前10:00～12:00 <会費>月額:3,500円

● 《熊川子供囃子連》

元旦の招福囃子、夏まつり、七夕まつり、イトーヨーカドーへの出演等で、皆様にお囃子を楽しんでいただいています。重松流のお囃子・踊りを「見て、聞いて、楽しんで」、演ってみてください。見学も可です。

● <活動日>毎週土曜日 午後7:00～9:00 <会費>入会時2,000円。以後、無し

● 《ヨガの会 すみれ》

先生の声に呼吸を合わせながら、伸ばす・曲げる・ねじる等、一日の疲れを忘れ、心身ともにリフレッシュできます。色々なヨガのポーズで体のバランスを整え、肩こりや腰痛の予防、老化の防止、美容と健康のために皆さんいつでも見学にきて下さい。

● <活動日>毎週木曜日 午後7:30～9:00 <会費>月額:2,500円

● 《コール白梅》

混声合唱団です。福生市民音楽祭、市民文化祭等に参加しています。年齢の高いサークルですが、大勢で楽しんでいます。特に男性会員の入会をお待ちしています。

● <活動日>毎週火曜日 午前9:30～12:00 <会費>月額:1,000円

● 《白梅太極拳の会》

楊名時太極拳二十四式と八段錦の練習をしています。細く長く、をモットーにみんなで健康づくり、仲間づくりをしています。初心者大歓迎です。ぜひご参加ください。

● <活動日>毎週水曜日 午後7:30～9:00 <会費>月額:2,000円

● 《絵手紙かたつむり》

身近にある花や果物、野菜、置物等なんでも題材になります。時には動物園や神社などに行きスケッチすることがあります。絵心がないからムリ!ということはありません。小さい方から年輩の方までどなたにも描けます。一度見学に来てください。

● <活動日>毎月第3金曜日 午前10:00～12:00 <会費>月額:1,000円

● 《みふじ会》

山藤先生の指導で、日舞、新舞踊、民舞等楽しく練習しています。身体を動かすので若返りますよ!男女を問わず参加をお待ちしています。

● <活動日>毎週金曜日 午後7:00～9:00 <会費>月額:5,000円

● 《アンパンマン》

季節の行事、工作、お誕生日会、室内での自由遊びを親子で楽しむサークルです。スイカ割り、消防署見学、芋掘りなどを予定しています。まずは見学にお出かけください。

● <活動日>毎週火曜日 午前10:30～12:00 <会費>月額:1歳以上500円、1歳未満250円

一編集後記一

ようやく第3号の発行にたどり着きました。カメのような歩みです。今回、編集をしていて、億劫に思わない、どちらかというと楽しんでいる自分があることに気づきました。読み手の顔をイメージしたり思い浮かべたり、ターゲットがはっきりしてきたことを実感します。地域のお知り合いが増えてきたことの表れです。皆さんに、公民館をもっと知っていただくこと、いろんな角度からご紹介しました。ぜひ一度お出かけください。お待ちしております。

